

[株主通信]
第22期 中間期

2020年10月1日～2021年3月31日

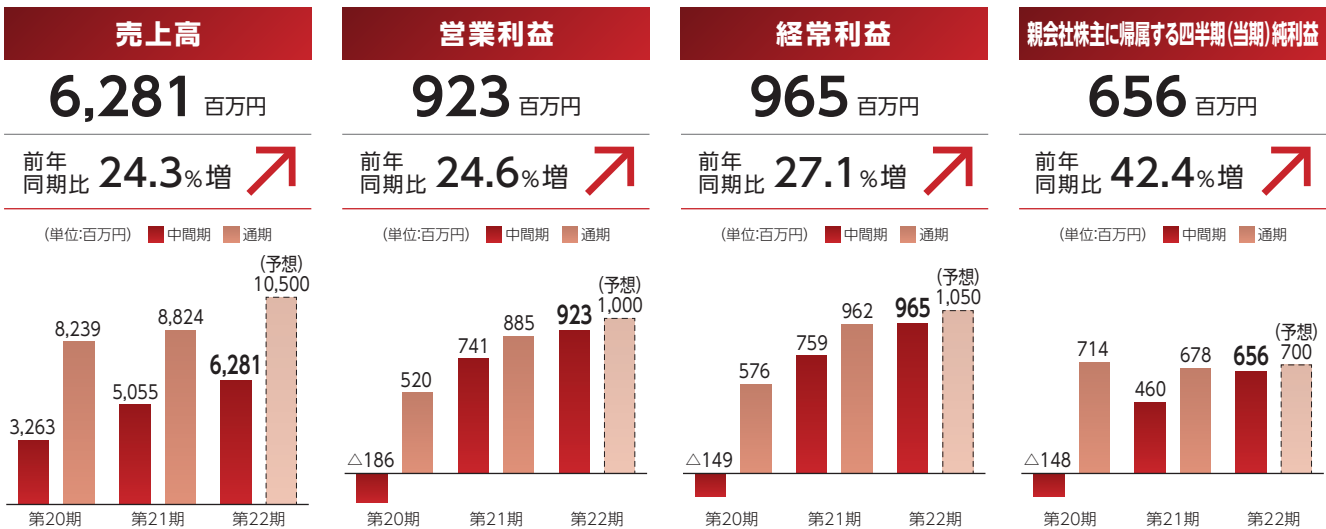
つなげているのは世界
支えているのは社会

株式会社 TVE

2021年9月期第2四半期 財務ハイライト (連結)

POINT

- バルブ事業における原発関連の定期検査工事の完了、その他メンテナンス工事の完了などにより売上が計上され、前年同期に比べ売上高は増加しました。
- バルブ事業において、前年同期に比べ売上高が増加したことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期に比べそれぞれ増加しました。



2021年9月期の見通し



配当について

第22期の中間配当につきましては、1株当たり20円とさせていただきます。

[1株当たり] **20**円

次の100年に向けて、 夢を、心を、技術をつなぐ企業へ



はじめに、新型コロナウイルスに罹患された皆様、影響を受けられている皆様に心よりお見舞いを申し上げます。そして最前線で奮闘されている医療関係の皆様と、私たちの生活を支えてくださるエッセンシャルワーカーの皆様に衷心より感謝を申し上げます。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第22期中間期の株主通信をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当期は、売上高105億円、営業利益10億円を目標に鋭意推進中のところ、折り返しとなる中間期で売上高62億81百万円、営業利益9億23百万円の実績となっております。

当期は上半期に案件が集中しているため、前期までの『作りだめ』分の売上が実現している形で、売上高の割には利益が伸び悩んでいるように見えますが、概ね想定通りの状況です。現在のところ計画通りの年間売上と利益を見込んでいますが、特に利益面では不確定要素が多く、確実な業績達成に向け全力で邁進してまいります。

さて、昨年10月に菅首相が所信表明演説で脱炭素を宣言して以降、新聞紙上ほか、カーボンニュートラルが話題に上がらない日はありません。当然、当社自身もカーボンニュートラルへの取り組みを加速させる必要がありますが、他方では当社の主力市場である原子力発電や

火力発電がどのように変わっていくのかをしっかりと見定め、時流に遅れることなく、事業開発に取り組んでいく必要があります。

原子力発電はゼロエミッションの発電として今後も一定の役割を果たしていくものと考えますし、火力発電はより高効率化とCO₂回収を組み合わせる形で進化していくものと考えていますが、これからも電力用バルブメーカーのトップ企業としてあり続けるため、新しい時代の発電技術に適応した製品・サービスの開発に取り組んでまいります。

いよいよ来年は創業100周年を迎えます。その機運を高めるべく、当社のブランドである「TOA」をデザインした100周年記念ピンバッジ(写真右)をつけ日々の業務に取り組んでいます。

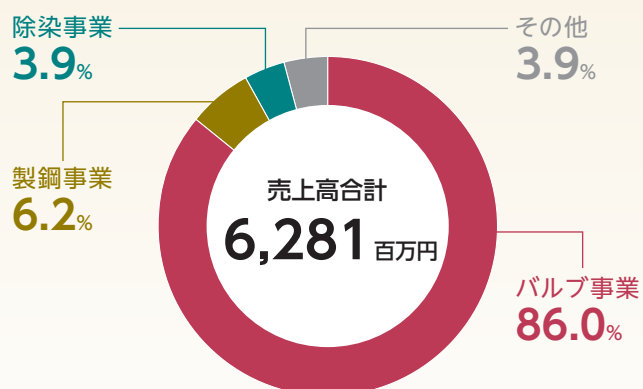
株主の皆様におかれましては引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2021年6月

代表取締役社長執行役員 **道野幸明**

セグメント別の概況

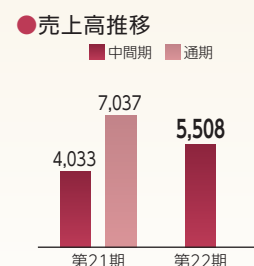


バルブ事業

売上高 5,508 百万円 (前年同期比 36.6%増)

セグメント利益 1,367 百万円 (前年同期比 20.6%増)

バルブ事業は、九州電力川内原発1・2号機、同玄海原発3・4号機で定期検査工事が完了し売上計上したほか、原発関係の売上が増加したことで、売上高は55億8百万円(前年同期比36.6%増)、セグメント利益は13億67百万円(同20.6%増)となり、前年同期に比して増収増益となりました。



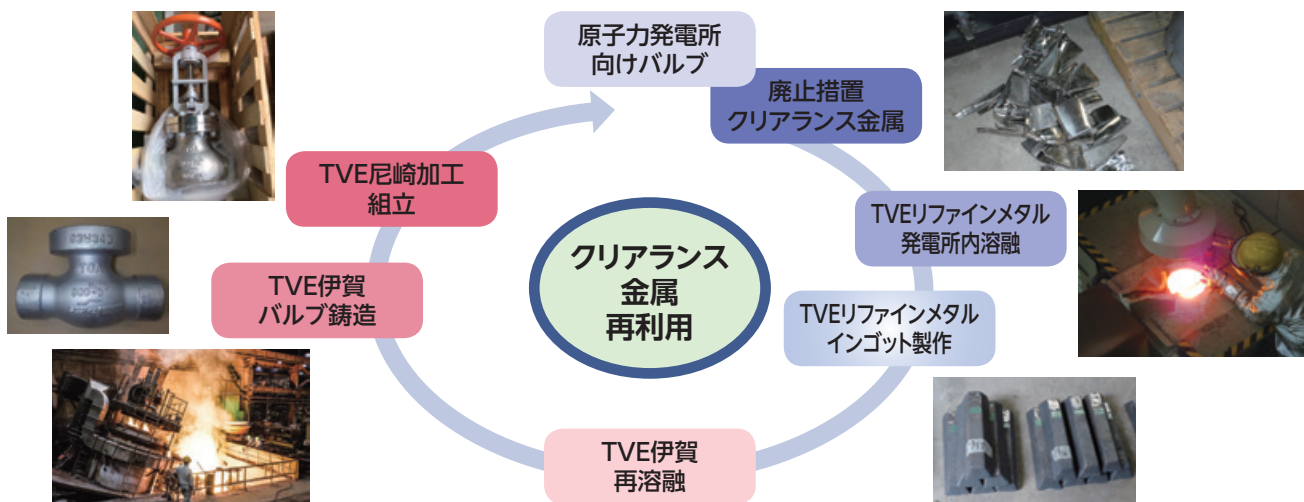
原子力発電所廃止措置における 解体金属類溶融設備の開発事業について

当社子会社の「TVEリファインメタル株式会社」は、経済産業省資源エネルギー庁が行う「令和2年度 原子力産業基盤強化事業」において、「原子力発電所廃止措置における解体金属類溶融設備の開発事業(以下、当事業)」を行う間接補助事業者として、2020年8月から当事業を開始し、2021年2月に無事計画通りに完了いたしました。

廃炉で発生する解体金属類は、解体期間が長く設定されていることから日々の発生量は多くなく、かつ廃炉プラント毎に解体時期が異なるため、従来の「大量引き取り、溶解による新たな金属製品を生み出す方法」、「一定量の素材を提供する方法」の適用が困難で大きな課題となっております。当事業は、この課題を解決するため、廃炉プラントの解体時期に合わせてモバイル(可搬型)金属溶融設備を廃炉プラント構内に持ち込み、解体金属類を溶融し、インゴット化並びに一次形状品(以下、インゴット等)を製造し、当社や他の製造会社へ素材を提供して原子力向け等産業品への再加工実現に向けて検証を行うものです。

令和2年度は、関西電力株式会社殿のご協力を得て、設計・製作したモバイル金属溶融設備を必要な場所に持ち込み、解体金属類の溶融、インゴット等の製作を行い、金属溶融設備の安全性の実証と作業手順を確立いたしました。

令和3年度以降の取り組みとして、開発したモバイル金属溶融設備の高度化と認可確認されたクリアランス対象金属(放射性廃棄物として扱う必要がない廃材)によるインゴット等の鋳造、それを使用したバルブ製品への適用検証を行って、廃炉プラントから発生する解体金属資源を効率的かつ持続的に再利用へと繋げる仕組みづくり(バルブライフサイクルの確立)に貢献し、当社グループの企業価値向上と原子力事業基盤の強靱化を目指してまいります。

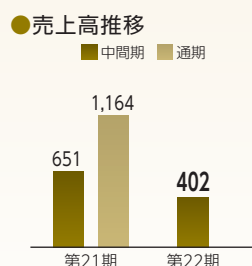


製鋼事業

売上高 **402** 百万円 (前年同期比 38.2%減)

セグメント利益 **△98** 百万円 (前年同期は 40百万円の赤字)

製鋼事業は、主要顧客からの受注、売上が減少した影響を受け、売上高は4億2百万円(前年同期比38.2%減)、セグメント利益は98百万円の赤字(前年同期は40百万円の赤字)となりました。

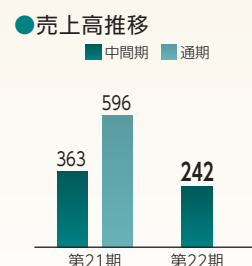


除染事業

売上高 **242** 百万円 (前年同期比 33.3%減)

セグメント利益 **△13** 百万円 (前年同期は 41百万円の黒字)

除染事業は、地域除染事業の規模縮小などの影響により、売上高は2億42百万円(前年同期比33.3%減)、セグメント利益は13百万円の赤字(前年同期は41百万円の黒字)となりました。



会社の概況

(2021年3月31日現在)

商号	株式会社TVE ※2020年10月1日に商号変更いたしました。
英文	TVE Co., Ltd.
証券コード	6466
所在地	〒660-0054 兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号
設立日	2000年3月16日
資本金	17億3,955万9,810円
事業内容	各種バルブ、鋳鋼製品の製造販売、 各種バルブのメンテナンス業務、 除染及び廃炉関係
従業員	303名(連結323名)

株式の状況

(2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	10,040,000株
発行済株式の総数	2,678,600株
株主数	1,396名
大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社キッツ	302,200	13.17
光通信株式会社	226,100	9.85
西華産業株式会社	203,200	8.85
株式会社UHPartners2	106,000	4.62
TOA取引先持株会	101,400	4.42
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	90,800	3.95
NPBN-SHOKORO LIMITED	76,200	3.32
株式会社三菱UFJ銀行	68,000	2.96
前島崇志	51,300	2.23
DAIWA CM SINGAPORE LTD(TRUST A/C)	42,500	1.85

※当社は自己株式384,566株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
期末配当金 受領株主確定日	9月30日
中間配当金 受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部

公告の方法 電子公告により行います。
公告掲載URL <https://www.toavalve.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社)にお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店におきましてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店でお支払いいたします。



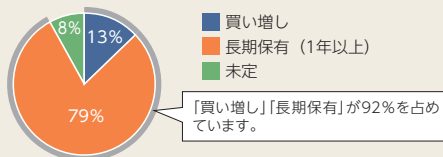
TVE 株主通信アンケート結果について

【株主通信】第21期 報告書で告知したWEBアンケート結果を報告します。

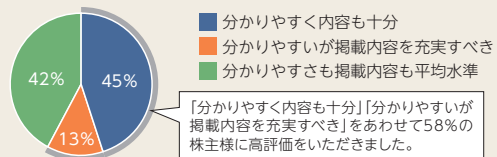
【実施期間】 2020年12月24日～2021年2月28日

【回答者数】 24名

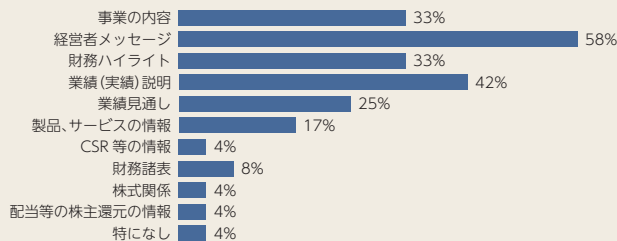
当社株式の今後の保有方針



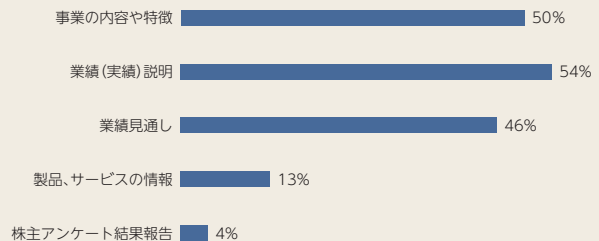
株主通信の掲載内容の評価



興味深かった記事



記載してほしい内容



主なコメント

- コロナに負けず頑張してほしい
- 中期経営計画を詳述してほしい
- 着実な企業成長と増配という形で株主還元してほしい
- 株主平等の原則から株主総会の土産配布・飲食付き懇親会等は恒久的に行わないでほしい
- 1年以上の長期継続保有株主のみを対象とした株主優待制度の導入
- 会社名は今の社名よりも「東亜バルブ」のほうが好きでした。